

# 『水の大陸 アジア』

ヒマラヤ水系・大河・海洋・モンスーンとアジアの近現代』

(草思社、2020年)

## 出版記念セミナー

「著者 スニール・アムリス教授との対話」

5月22日(土) 10:00~11:00

(リモート開催・通訳あり)

### セミナー紹介

モンスーンと季節的降雨や台風・サイクロン、或いは海・河川・湖沼等からなる水系に囲まれた地形といった「水」をめぐる自然環境は、ヨーロッパ以東のユーラシア大陸を占めるアジアに生きる人々が、遙か昔から現在に至るまで対応を迫られ続けているものです。アジアの人々は「水」をめぐる問題にどのように応え、それらは翻って自然環境にどのような影響を与えたのか、こうした斬新な視点から19世紀から現代に至るまでのアジア史を読み解いたスニール・アムリス教授の著書『水の大陸 アジア：ヒマラヤ水系・大河・海洋・モンスーンとアジアの近現代』が2020年12月に草思社から出版されました。コロナ禍や地球温暖化といった喫緊の問題への危機感とも相まって、人と自然との交差への関心が大きく高まっている中で、アムリス教授の洞察に触れることは重要な意義を持つものです。

そうしたことから、科学研究費基盤研究(S)「近代アジアにおける水圏と社会経済 — データベースと空間解析による新しい地域史の探求」では、海外研究協力者でもあるアムリス教授をお招きして、著書の背景、現在進めている研究プロジェクト、アジア・日本の読者へのメッセージなどを伺う、ウェブ・セミナーを開催することにいたしました。研究者や大学院生だけではなく、広く一般の方も、奮ってご参加ください。



講演者：スニール・アムリス (Sunil Amrith)

イェール大学歴史学部 教授。専門は南アジア史、移民史、環境史。ケンブリッジ大学卒業後、トリニティーカレッジの主任研究員に。その後、ロンドン大学バークベック・カレッジ教授、ハーバード大学教授を経て2020年から現職。主著に、原書となる *Unruly Waters: How Rains, Rivers, Coasts, and Seas Have Shaped Asia's History* (Basic Books, 2018) の他、*Migration and Diaspora in Modern Asia* (Cambridge University Press, 2011), *Crossing the Bay of Bengal: The Furies of Nature and the Fortunes of Migrants* (Harvard University Press, 2013) 等がある。



コーディネーター：城山智子

東京大学大学院経済学研究科 教授。専門は近代中国社会経済史、アジア史。科学研究費基盤研究(S)「近代アジアにおける水圏と社会経済 — データベースと空間解析による新しい地域史の探求」研究代表者。

#### 開催概要

日時：2021年5月22日(土) 10時～11時(予定)

会場：Zoomを使ったウェブ配信セミナーです。下記からお申し込みください(無料)。

[https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_NdqR6C7PTc-1Kwz-PnVjTw](https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_NdqR6C7PTc-1Kwz-PnVjTw)

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

ウェビナーは9時半から入室可です。

主催：科学研究費基盤研究(S)「近代アジアにおける水圏と社会経済 — データベースと空間解析による新しい地域史の探求」The Hydrosphere and Socioeconomics in Modern Asia - Exploring a New Regional History Using a Database and Spatial Analysis (Hysoc)

協賛：(株)草思社